



『36万リットルのオーバーフロー』 辻井 俊

■ Episcopa ■ 辻 陸、朝木栄永、近藤フク、松永 澤

会社を辞めプール監視員のバイトをしながらイラストレーターを目指す主人公。仲のいい10年監視員の先輩、プロ競泳を目指す女子体育大生、就活前のギャル女子大生などがおり、単調だが平和な日々。そんな中、元プロ志望の男性客が来るようになったことでその日常に変化が訪れる。



『繰り返す女』 中田江玲

■ DOTS&LINE ■ 伊藤 歩、田中麗奈、今本洋子

人の持ち物を衝動的に盗む癖がある野田貴子。ある日、苦手な同僚・木村燈の手鏡を盗んだ瞬間を、本人に目撃されてしまう。しかし木村は、聞いたことごとく、その場を立ち去った。予想外の反応に戸惑った野田は、次第に木村の存在を強く意識するようになる。



『うねうねとまっすぐ』 八代夏歌

■ ボトフ ■ 大和奈央、小方善介

田舎に住む天然バーマの高校生まるのお弁当はいつもホットケーキ。そこには密かに抱えている家の問題が関係している。ある日、都会から直毛男子の素直が転校してくる。さらにまると同じバイト先で働き始め、二人は一緒に帰るようになり……。



『巡り巡る果て』 鴨林諄宜

■ 東映シーエム ■ 平埜生成、楽駆、酒向 芳

関東近郊にある昔ながらのカメラ店。店主の杉原文雄と従業員の深谷穂は、実の親子のような関係を築き支え合ってきた。そんなある日、文雄の息子であり写真家を目指して出て行った杉原貴一が帰ってくる。貴一の存在が穂の居場所を少しずつおびやかしていくことになる。



『スリーピング・スワン』 佐藤そのみ

■ サフル ■ 諏訪珠理、白本彩奈、松浦りょう



『あて所に尋ねあたりません』 たかはし そうた

■ 松竹プロ덕キャスト ■ 松竹プロ덕キャスト、神田健花、樋之津琳太郎、山崎陽平



『いちばん星は遠く輝く』 武田かりん

■ アルタミラビクチャーズ ■ 石川曜華、瀬戸真莉奈、川口大輝



『あわいの魔物たち』 守田悠人

■ Lamp. ■ 中村咲子、遊屋慎太郎、外海多留子



『明るいニュース』 城 真也

■ オフィス・シロウス ■ 橋原悠樹、安 亜希子、菊川実晴



『光はどこにある』 野田麗未

■ nkdプロジェクト ■ 円井わん、東 龍之介、霧島れいか



『勝手口の少女』 山本十雄馬

■ 東映東京撮影所 ■ 斎藤汰鷹、石田莉子、山田浩志



『恋は真っ赤に燃えて』 西口 洸

■ Lat-Lon ■ トロツキー・マックレンドン、高橋 翔

ndJC 若手映画作家育成プロジェクト

日本映画界の次世代を担う映画監督を発掘・育成し、日本映画の活性化を目指します。

＜ 2026年度プロジェクト概要 ＞

各団体等からの推薦により作家を募集 一次選考にてワークショップ参加作家を決定

【応募資格】

①日本国籍又は日本の永住資格を有すること。

②35才未満(2026年3月31日現在)の年齢条件を満たすこと。

③過去に商業長編映画の監督経験がある者(以下のいずれかに該当する者)は除く。

(1) 東京都内で、1日3回、2週間を超えて、商業映画館にて上映された40分以上の劇映画作品を監督した者。

(2) 未公開だが、商業映画を監督し、すでに撮影を完了している者。

(判断に迷う場合は事前に事務局までお問い合わせください。)

④過去の当プロジェクト製作実地研修参加者は除く。(但しワークショップまでの参加者については再応募可能。

⑤自身が監督を務めた映画制作の実績があり(アニメーション・ドキュメンタリー不可)、かつ、以下のいずれかに該当すること。

(1) 自身が監督した映画が映画祭等に入選し、評価を得た実績がある。

(2) TVドラマ監督、助監督、CM・MVディレクターいずれかを務めた商業映像作品での実務経験がある。

(3) 映画・映像に関する大学や専門学校にて優秀な成績を修めた実績がある。

⑥育成対象は、作家個人とする(グループでの応募は不可)。

⑦応募は、団体等の推薦によるものとする。

推薦団体:映画業界団体(日本映画製作者連盟、日本映画製作者協会 他)、映画・映像に関連する大学や専門学校、国内外映画祭事務局 等

⑧以下を提出すること。

(1) 製作実地研修で製作したい作品の企画意図、プロット、脚本(25分以上、30分以内のフィクションでオリジナルの実写映画)

(2) 事務局の指定する様式による応募書類(ndjc公式サイトよりダウンロード)

(3) ⑤の条件を満たしていることを示す資料

⑨学校または会社・団体等に所属する者は、参加について、所属先の承認を得ていること。

注:応募の詳細はndjc公式サイトにある募集要項をご確認ください。

▼ 選出人数:10~15名

02 ワークショップ

7月~8月



短編映像制作

同一のテーマ・条件で

5分間の短編映像を制作

撮影 編集

→ 上映・講評

プレ脚本指導

個人面談にて

講師からアドバイス

プレ脚本指導 → 脚本改稿

最終選考にて製作実地研修参加作家を決定

▼ 選出人数:4名

03 製作実地研修

8月~1月

おおよかなスケジュール
8月~10月 脚本開発
11月 撮影
12月~1月 仕上げ
1月 完成

プロのスタッフによる指導のもと、短編映画作品を製作

【製作実地研修の指針】

①企画 オリジナルの劇映画作品

(年齢等による鑑賞制限がからず、広く発表できるもの)

②上映分数 25分以上、30分以内

③脚本 参加作家自身の執筆とする

④撮影・仕上げ 事務局が指定する制作プロダクションとの作品製作



経歴豊かなプロデューサー、映画監督、脚本家等による指導・助言

2025年度
制作プロダクション

東映シーエム / Episcopa /
DOTS&LINE / ボトフ

04 作品発表

3月

完成作品の上映会、講評会の実施

①映画関係者、マスコミ等を対象とした合評上映会

②プロジェクト検討委員・脚本講師による講評

③国内外の映画祭への出品、映画館での特集上映 他

ndJC 公式サイト <https://ndjc.bunka.go.jp/>

『見はらし世代』団塚唯我 監督、『君のクイズ』吉野耕平 監督など、注目監督を輩出！

若手映画作家育成プロジェクト2026

プロのスタッフの指導のもと、オリジナル脚本で短編映画作品を製作する人材育成プロジェクトです。

ndJC
NEW DIRECTIONS IN
JAPANESE CINEMA 2026

監督募集

応募締切

5.18 [月]
12:00 まで

◎ 募集説明動画
公式サイトにて配信 →



出身監督の近年の活躍



©2024 ナミビアの砂漠、制作委員会

山中瑠子 ndjc2019

第77回カンヌ国際映画祭
監督週間 正式出品
国際映画批評家連盟賞
(女性監督史上最年少)



©2025 「この夏の星を見る」制作委員会

山元環 ndjc2018

第17回TAMA映画賞
最優秀新進監督賞
第39回高崎映画祭
新進監督グランプリ



©2025 シグロ/レプロエンタテインメント

団塚唯我 ndjc2021

第78回カンヌ国際映画祭
監督週間 正式出品
(日本人史上最年少)



©2025 "Leave the Cat Alone" Film Partners

志堂大輔 ndjc2020

第30回釜山国際映画祭
コンペティション部門 正式出品
26年5月2日(土)公開!



©2025 映画「君のクイズ」制作委員会

吉野耕平 ndjc2014

26年5月15日(金) 公開!

募集要項、募集説明動画は公式サイトをチェック

ndjc



文芸春秋 令和8年度 若手映画作家等の育成事業

事務局: V/O 特定非営利活動法人映像産業振興機構 ndjc@ndjc.bunka.go.jp

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2022

『うつせのまま踊りたい』
岡本昌也
■ レスバフィルム
■ 福永朱梨、日下七海

『ラ・マヒ』
成瀬都香
■ ROBOT
■ まりあ、夏すみれ、ライディーン 調

『サボテンと海底』
藤本 楓
■ TOHOスタジオ
■ 宮田佳典、佐野 岳、大友一生

『デブリーズ』
牧 大我
■ キリシマー・九四五
■ 山根和馬、森 優作、カトウシンスケ

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2021

『少年と戦車』
竹中真人
■ 東映東京撮影所
■ 鈴木 福、黒崎レイナ、笠井悠聖

『遠くへいきたいわ』
塚塚唯我
■ シグロ
■ 野内まる、河井青葉、フジエタクマ

『LONG-TERM COFFEE BREAK』
藤田直哉
■ ジャンゴフィルム
■ 藤井美菜、佐野弘樹、福田麻由子

『なっちゃんの家族』
道本咲希
■ アミューズ
■ 上坂美菜、白川和子、斉藤陽一郎

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2020

『毎日爆裂クッキング』
植木咲菜
■ アルタミラビクチャーズ
■ 安田聖愛、柃井ミカ、駒木根隆介

『醒めてまほろし』
木村優菜
■ シネムーブ
■ 小野花梨、青木 柚、通山景織子

『窓たち』
志賀大輔
■ 角川大映スタジオ
■ 小林涼子、関口アナン、瀬戸さおり

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2019

『あなたみたいに、なりたくない。』
川崎 僚
■ ダブ
■ 阿部純子、小島 聖、鳥谷宏之

『Le Cerveau - セルヴォー -』
島田欣征
■ 東映京都撮影所
■ 田中沙依、藤崎樹己、南 岐佐

『魚座どうし』
山中瑠子
■ オフィス・シロウス
■ 根本真凜、外川 燎、山田キヌヲ

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2018

『くもりときどき 晴れ』
板橋基之
■ ブースタープロジェクト
■ MEGUMI、浅田美代子、水橋祐二

『はずれ家族のサーヤ』
岡本未樹子
■ テレビマンユニオン
■ MEGUMI、浅田美代子、増子綾文江

『最後の審判』
山元信也
■ ジャンゴフィルム
■ 須藤 蓮、永瀬未留、黒沢あずか

『サヨナラ家族』
山元 環
■ スタジオブルー
■ 石田法嗣、根岸季衣、村田 唯

『うちうちの面達(つらたち)は。』
山元 環
■ シネムーブ
■ 田中奏生、田口浩正、演田マリ

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2017

『化け物と女』
池田 咲
■ 東映東京撮影所
■ 熊倉一美、きたろう、有働芳紀

『カレーライス Curry and Rice』
奥野俊作
■ 東宝映画
■ 井之脇海、安藤ニコ、松浦祐也

『もんちゃん』
金 晋弘
■ ツインズジャパン
■ 大和田寛、黒島秀和、平尾菜々花

『トーキーアカセル』
齋藤栄美
■ アルタミラビクチャーズ
■ リリか、川合 談、菅原大吉

『さらば、ダイヤモンド』
中川和博
■ 東北新社
■ 伊藤祐輝、伊藤 毅、佐藤花基、橋本真実

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2016

『白丁』
金 九洙
■ ジャンゴフィルム
■ 弥尊、板井ユキ、般若

『ジョニーの休日』
新谷寛行
■ シネムーブ
■ 金井勇太、川添野愛、大塚千弘

『パンクしそうだ』
目黒啓太
■ オフィス・シロウス
■ 亀田有樹、松山愛里、夢留見啓助

『戦場へ、インターン』
飯下雪太
■ 角川大映スタジオ
■ 伊藤沙莉、萩原みのり、郭 智博

『SENIOR MAN』
吉野 主
■ 松竹撮影所
■ 峰崎太郎、田中夏次、油井昌由樹

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2015

『壊れ始めてる、ヘイハイハイ』
佐藤快磨
■ アスミック・エース
■ 太賀、岸井ゆきの、牧田哲也

『父の結婚 ふくだもこ』
佐藤快磨
■ ブースタープロジェクト
■ ソニン、板尾創路、山中 崇

『罪とバス』
藤井悠輔
■ 東映東京撮影所
■ 阿部進之介、渡辺 大、中川可葉

『はななくしらち』
堀江貴大
■ 東宝映画
■ 森下能幸、黒川芽以、原川アトム

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2014

『チキンスダイナマイト』
塚塚俊光
■ ダブ
■ 岡山天音、恒松祐里、前野朋哉

『もつきらソノディ』
加瀬 聡
■ 角川大映スタジオ
■ 星野真里、油井昌由樹、豊崎 花

『本のゆがみ』
草苅 勲
■ シネムーブ
■ 金山一彦、見玉宣勝、小野しおり

『good-bye』
羽生敬博
■ リトルモア / フィルムメーカーズ
■ 安藤玉恵、竹中涼乃、矢崎由紗

『エンドローラーズ』
吉野耕平
■ 日活 / ジャンゴフィルム
■ 三浦貴大、でんでん、久野雅弘

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2013

『鉄馬と風』
浅沼直也
■ オフィス・シロウス
■ 飯沼留見啓助、ウダタカキ、北浦 愛

『カオリと機械油』
北川帯寛
■ 東映京都撮影所
■ 松永 渚、長尾祐香、真鍋 拓

『オシャレ番外地』
高谷昂佑
■ アルタミラビクチャーズ
■ 高良 亘、小林高鹿、柃 瑞美

『ミチずレ』
文蔵 豪
■ シネバザール
■ 落合モトキ、矢本悠馬、薬丸 翔

『世田谷区、39丁目』
山下征志
■ 東宝映画
■ 下田翔大、浜辺美波、須賀貴匡

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2012

『半徑3キロの世界』
菊池清剛
■ 日活 / ジャンゴフィルム
■ 飯島幸大、谷村美月、高橋 努

『カサブランカの探偵』
庄司輝夫
■ 松竹撮影所
■ 太田莉奈、門脇 麦、Chris McCombs

『んで、全部、海さ流した。』
山元 環
■ シグロ
■ 韓 英惠、篠田涼也、足立智充

『ラララ・ランドリー』
鈴木研一郎
■ 永井プロジェクト
■ 堀田中美里、松下洗平、内田和也

『プリンと味』
畑中大輔
■ 近代映画協会
■ 金井光輝、上田耕一、小林麻子

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2011

『ここにいる...』
七字幸久
■ 映広
■ 蒼いいな、蒼あんな、井上 肇

『あかり』
谷本佳織
■ 東映京都撮影所
■ 七海薫子、古谷ちさ、福本清三

『パーマメントランド』
中江和仁
■ バレード
■ 佐藤貴三、喜多道枝、春木みさよ

『嘘々実実』
藤澤浩和
■ 角川映画
■ 堀尾上寛之、小健雄斗、久野雅弘

『UTAGE』
やましたつばみ
■ アルチンボルド
■ つみきまほ、奥瀬 崇、小田部千夏

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2010

『曇天クラッシュ』
高橋康進
■ シネムーブ
■ 前田広治、木之元晃、野村佑香

『逆転のシンデレラ』
藤村享平
■ オフィス・シロウス
■ 志保、大和田健介、田中こなつ

『おとこのこ』
松永大司
■ 松竹映像制作部
■ 清水尚弥、吉原拓弥、内田 慈

『RAFT』
三宅伸行
■ 日本映画撮影監督協会
■ 寛 利夫、岡岡滯里、松岡崇優

『動物の狩り方』
森 英人
■ 東宝映画製作部ndjチーム
■ 能年玲奈、村田雄浩、河口舞華

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2009

『きみは僕の未来』
浅野晋康
■ ノックアウト
■ 私市夢太、斉藤陽一郎、石村みか

『ペタルの行方』
金井純一
■ パノラマ
■ 辻香緒里、浦上晟周、草野康太

『ホールイン・ワンダーランド』
清水 聡
■ ブラネット・スタジオ・プラス・ワン
■ 花田優里音、澤田俊輔、宮川ひろみ

『アンダーウェア・アフェア』
相手由貴子
■ E N B U セミナール
■ 東加奈子、小野ゆり子、山中 崇

『そぼろごはん』
遠山浩司
■ ニューシネマワークショップ
■ 細山田隆人、草村礼子、大谷英子

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2008

『嘘つき女の明けない夜明け』
熊谷まどか
■ ニューシネマワークショップ
■ 宮本裕子、佐藤玲子、渡部遼介

『花になる』
田中智章
■ パノラマ
■ 山田キヌヲ、高瀬友規奈、田村素二郎

『琥珀色のキラキラ』
中野量太
■ ビクチャーズネットワーク
■ 尾野真千子、松原菜野花、滝藤賢一

『くんだん』
吉井和之
■ 映像メディア創造機構
■ 守山玲愛、中村美菜、大沢逸美

『第三の肌』
和島晋太郎
■ ハニーバー
■ リリイ、唐橋 亮、川村悠那

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2007

『天国のバス』
都司雅之
■ シネカノン
■ 須賀貴匡、大西麻実、浜崎 茜

『さよなら、ジョージ・アダムスキー』
児玉和士
■ パノラマ
■ 柄本 佑、尾上寛之、いせゆみこ

『直下型の女』
タチナイケンタ
■ ぴあ PFF事務局
■ 山中 聡、河井青葉、江口のりこ

『BABIN』
平林 勇
■ gauguins international inc
■ 堀部圭亮、野島直人、高橋 聡

『UFO食堂』
山口 智
■ ニューシネマワークショップ
■ 高山侑子、志賀廣太郎、片桐はより

NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA 2006

『屋根の上の赤い女』
岡 太地
■ ぴあフィルムフェスティバル
■ 山中 崇、神楽 幸、高城ツヨシ

『ヒトラモウ』
児玉徹郎
■ DigiCon6, TBS
■ ※アニメーション作品

『trash words』
佐藤克則
■ SKIPシティ 国際Dシネマ映画祭
■ 山崎 幸、北条隆博、永倉大輔

『Life Cycles』
真田祥也
■ DigiCon6, TBS
■ 酒井敏也、石井めぐる、深水三章

『LINE』
中尾裕之
■ ショートショートフィルムフェスティバル & アジア
■ ふせえり、上島竜兵、勝村政信

『Flying Baby』
野口照夫
■ CNEXT
■ 川谷千春、サマンサミツエル

『けものがにける』
村松正浩
■ ぴあフィルムフェスティバル
■ 田中哲司、斉藤陽一郎、河井青葉

『さちとチョコ』
柳川薫平
■ SKIPシティ 国際Dシネマ映画祭
■ 島井真央、須賀奈々子、新井 純

●・・・作家推薦団体
●・・・制作プロダクション
●・・・育成管理団体
●・・・主な出演者

©2008-2025 VIPO
©2007 DAICHI OKA / VIPO
©2007 TETSURO KODAMA / VIPO
©2007 KATSUNORI SATO / VIPO
©2007 MIKIYA SANADA / VIPO
©2007 HIROYUKI NAKAO / VIPO
©2007 TERUO NODUCHI / VIPO
©2007 MASAHITO MURAMATSU / VIPO
©2007 KUNPEI YANAGAWA / VIPO